

さんか EXPRESS

掲示用

発行所
セブン&アイグループ労働組合連合会
イトーヨーカドー労働組合
東京都千代田区二番町8-8
TEL 03-6238-3940
FAX 03-3261-2358
発行者 渡邊 健志 編集者 上中 瑠英

～第54回定期中央大会開催報告～ 全ての議案が承認！両利き活動の実践により、 新たな道を創造しよう！



2023年10月6日(金)に東天紅・上野本店に於いて第54回定期中央大会が開催されました。9月1日から(株)イトーヨーカ堂と(株)ヨークの合併による新体制発足にあたり、開会からご来賓挨拶までヨーク労働組合の中央役員ならびに代議員が同席しました。「2024年度活動方針」、「2024年度活動予算」、「第27回参議院議員選挙必勝決議」が満場一致で承認され、他5つの議案についても承認されました。今年度の活動スローガンは「活動の探索と深化～合言葉は『何のため、誰のため』～」です。「一支部一組合の確立」に繋がる真の強い組織基盤づくりに向けて、「何のため、誰のため」を合言葉にしながら、活動の探索と深化を行う両利き活動を実践していきます。今年度も組合員の皆さんのより一層の活動への参加・参画をよろしくお願いいたします。

《 議案 》

- | | | | |
|--------|-----------------------|--------|-----------------|
| ◇第1号議案 | 2024年度活動方針 | ◇第5号議案 | 上部団体役員 の就任 |
| ◇第2号議案 | 組合同約・規定および内規の改定 | ◇第6号議案 | 参与の任命 |
| ◇第3号議案 | 2024年度予算およびパンプキンクラブ予算 | ◇第7号議案 | 第27回参議院議員選挙必勝決議 |
| ◇第4号議案 | 2024年度中央役員選出 | ◇第8号議案 | 功労者表彰 |

《大会議長》



武蔵小杉駅前支部
吉田 朋史

《大会副議長》



船橋支部
三浦 貴子

《大会書記》



赤羽支部
野口 幸音

《大会運営委員長》



八尾支部
上原 光司

《中央選挙管理委員長》



営業・管理支部
高木 政博

中央執行委員長挨拶（抜粋）



中央執行委員長
渡邊 健志

2024年度の重点活動の一つ目は「2024 総合労働条件闘争」である。構造的な持続性のある質上げに繋げていくために、個人と組織がエンゲージし合える環境づくりが将来的に大きな財産となることを、労使の共通認識とした上で目標を持って取り組んでいきたい。二つ目は「政策実現に向けた活動」である。田村まみ参議院議員の再選に向けて、中央と支部で参画体制を確立し、研修会をはじめとする活動に目標をもって組合役員や組合員に参加してもらい、支援体制に繋げていく。また、9月より新たな労働組合が会社と共に成長していくため「労働組合統合委員会」をスタートさせた。組織統合に向け「現場がすべて」という意識と行動のもと皆さんと共に取り組んでいく。

「不易流行」という言葉がある。変化に立ち向かう挑戦の気概こそが、私たちが時代を超え引き継ぐ精神である。過去に囚われず常に環境変化がもたらすお客様ニーズに合わせ、新しい仕組み・新しいビジネス・新しい価値創造に取り組む組織や自己革新こそが私たちの成長の源泉である。変わらずに受け継いでいくものと、時代とともに変えていくべきもの、この両輪を深化と探索し磨き続けることによって新たな道が切り拓かれていく。2024年度は過去経験したことのない環境変化への対応が求められ判断していく年になるが、基本と原点を大切に新たな道を共創していきたい。その為にもより一層の参加・参画をお願いしたい。

ご来賓挨拶（抜粋）



(株)イトーヨーカ堂
代表取締役社長
山本 哲也氏

IYとYOは、お客様からの評価や課題に共通点が多く、共にFood&Drug事業に取り組んでいくため経営統合した。変革と積み上げた施策をやり遂げることで2025年度の目標を達成することが出来る。組合員とお客様の幸せ実現のため、対話と協議を大切にする。



UAゼンセン
東京都支部 支部長
新 敦氏

地域別最低賃金が上昇し、各方面に大きな影響を与えているが、個人事業主等は対象外となっており、乖離が生じている。流通産業として幅広くご意見をいただきたい。また、皆さんが持ち味とするコスト意識と、生活者意識を都道府県支部に伝え、ノウハウと知見を生かしたい。

第1号議案 2024年度活動方針

世の中や環境の変化が著しい「不確実性・多様性の時代」の中で、前年踏襲の考えに基づく活動だけでは、その変化に対応できる組織づくりは叶わない。イトーヨーカドー労働組合における活動の既存の認知の範囲を超えて、更なる価値や成果に結びつく活動を創り出していく行為が「活動の探索」である。探索によって認知の範囲が広がり、新たな発想やアイデアを取り入れた活動に繋げていく。その探索を通じて起こす活動の中から価値あるものを見極め、深掘りし、磨き込んでいく行為が「活動の深化」である。

2024年度は総合的な観点で物事を捉え、(株)イトーヨーカ堂と(株)ヨークの企業合併に伴う労働組合の組織統合に向けた、労働諸条件に関する労使による確認と協議、IYの再成長を力強く支えることの出来る強い組織づくりに向けた活動に挑戦していく。

田村まみ 決意表明（抜粋）



参議院議員
田村 まみ

田村まみ参議院議員が大会に駆けつけ、第7号議案「第27回参議院議員選挙必勝決議」の満場一致での承認に対する感謝と今後に向けた決意をお話いただきました。

「小売業の環境が大きく変わる中、必要な制度を作り、不要な規制を撤廃するのが労働組合と政治活動である。引き続き現場の声を国政に届ける活動を行うので、カスハラ対策マニュアルや年収の壁についての声を届けて欲しい。」



第54回定期中央大会の詳細については、11月発行予定の「さんかvol.550」をご確認ください。

— 掲示期間 2023年11月1日（水）まで —